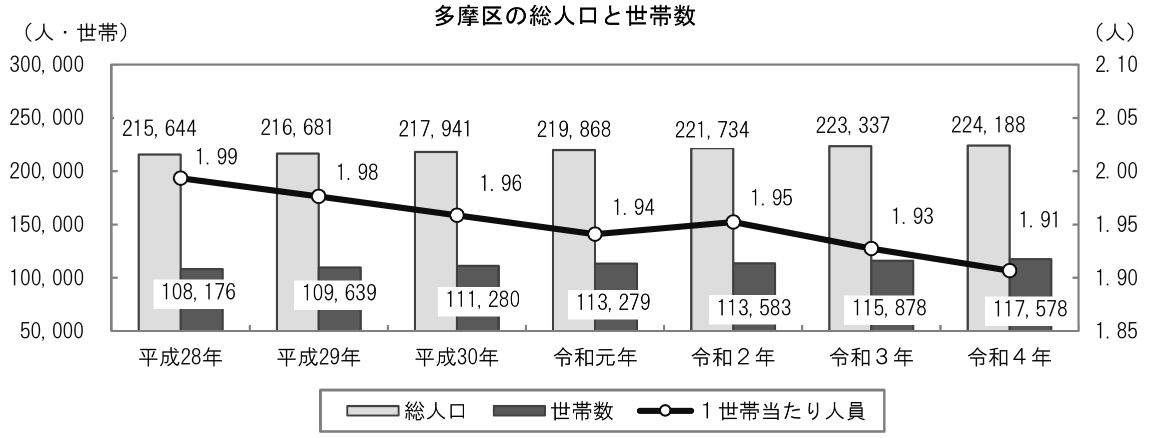
資料７

多摩区の現況

①　総人口と世帯数

多摩区の人口は増加を続けており、令和４（2022）年 10 月１日現在で 224,188 人となっています。

人口増加に対し、１世帯当たりの人員は 1.91 人となっており、平成 28 年の 1.99 人から減少傾向が続いています。

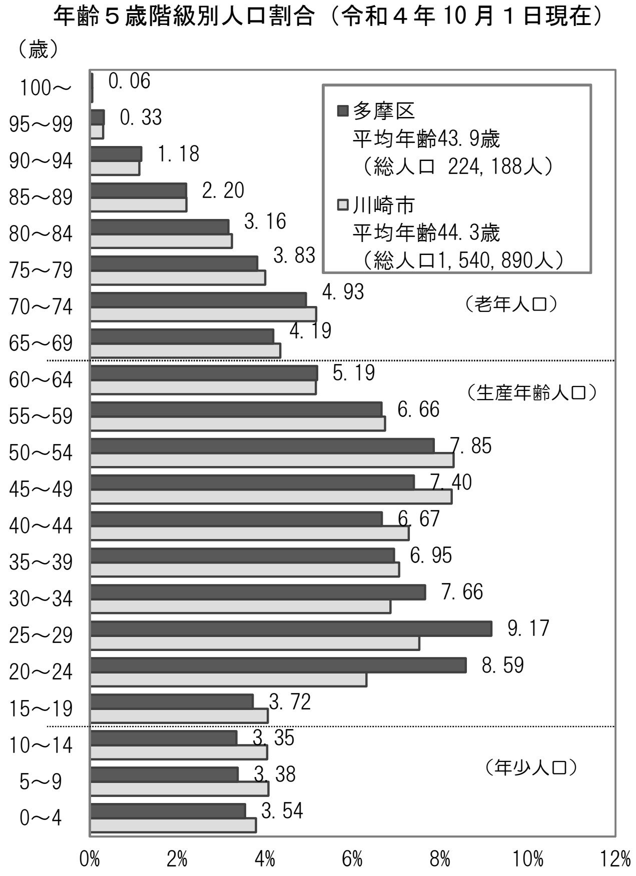


資料：川崎市統計情報「川崎市の世帯数・人口」（各年 10 月１日現在）

② 人口構成

●年齢５歳階級別人口割合

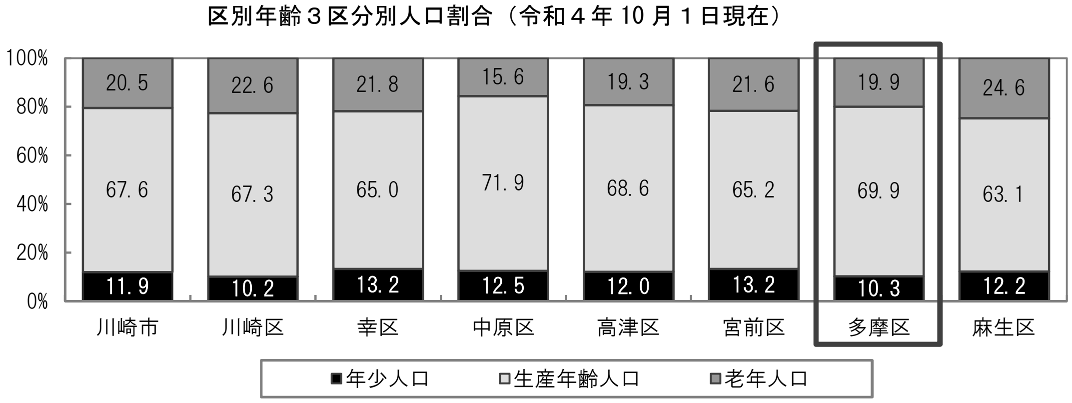
年齢５歳階級別人口割合を市と比較すると、年少人口（0～14 歳）では市より低く、生産年齢人口（15～64 歳）では 20～34 歳の割合が市より高くなっています。また、平均年齢は７区で３番目に低い 43.9 歳となっています。

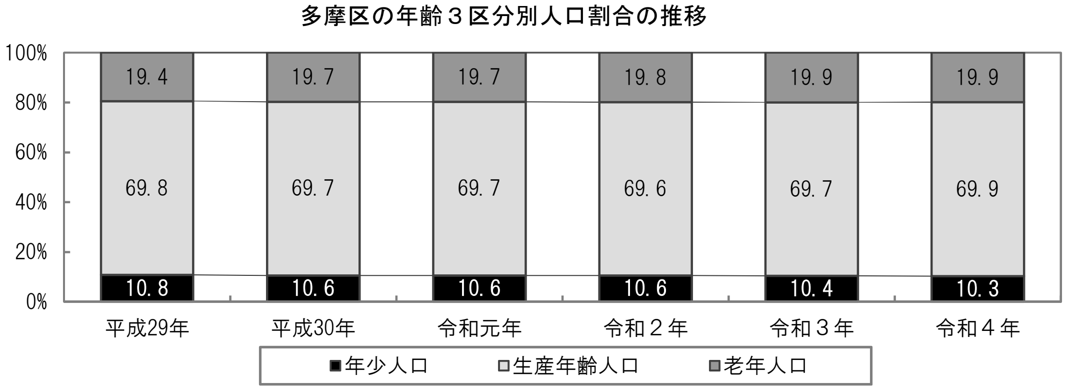


資料：川崎市統計情報「川崎市年齢別人口」（令和４年 10 月１日現在）

●年齢３区分別人口割合

年齢３区分別にみると、生産年齢人口（15～64 歳）が 69.9%と７区で２番目に高い一方、年少人口（15 歳未満）は 10.3%と７区で２番目に低くなっています。

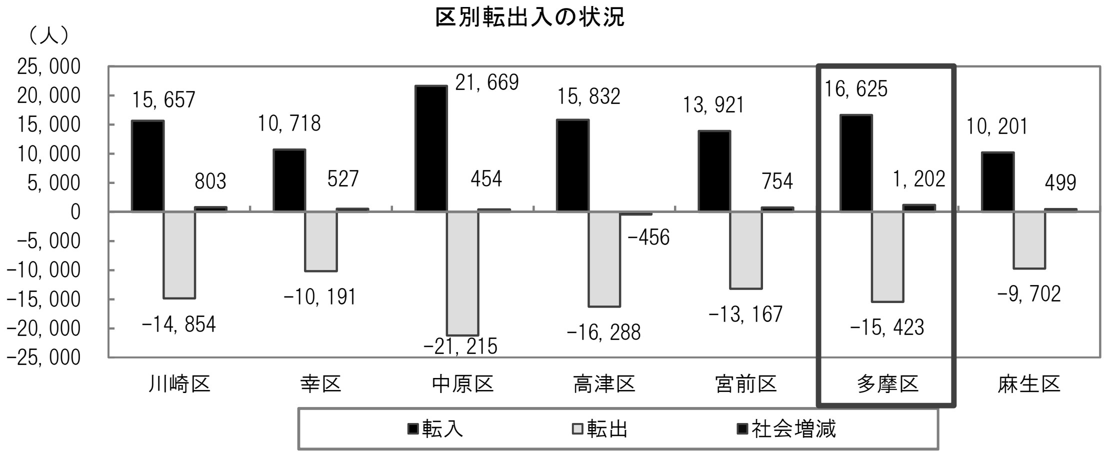




資料：川崎市統計情報「川崎市年齢別人口」（各年 10 月１日現在）

③ 転出入の状況

令和４（2022）年の転出入の状況をみると、１年間で 16,625 人の転入、15,423 人の転出があり、転入が転出を 1,202 人上回っています。

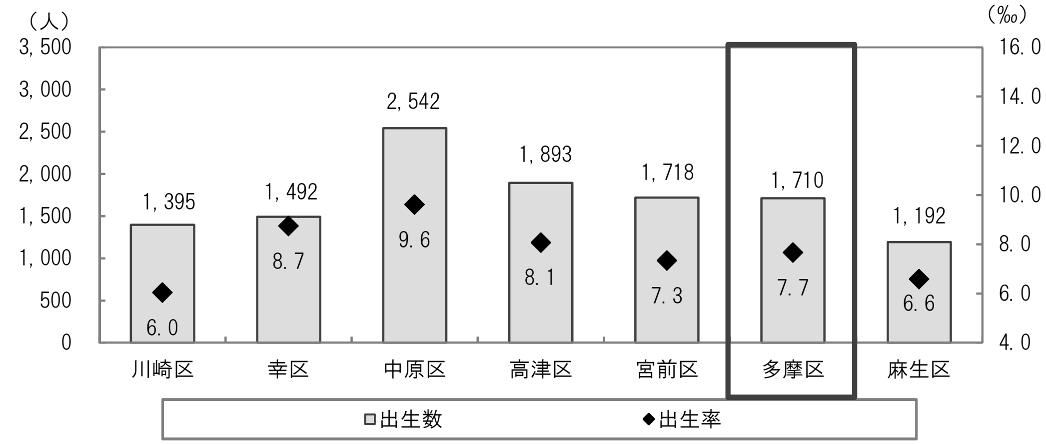


資料：川崎市統計情報「区別月別人口動態」（令和４年１月～令和４年 12 月の合計）
※社会増減…住民の転入から転出を差し引いた人数。

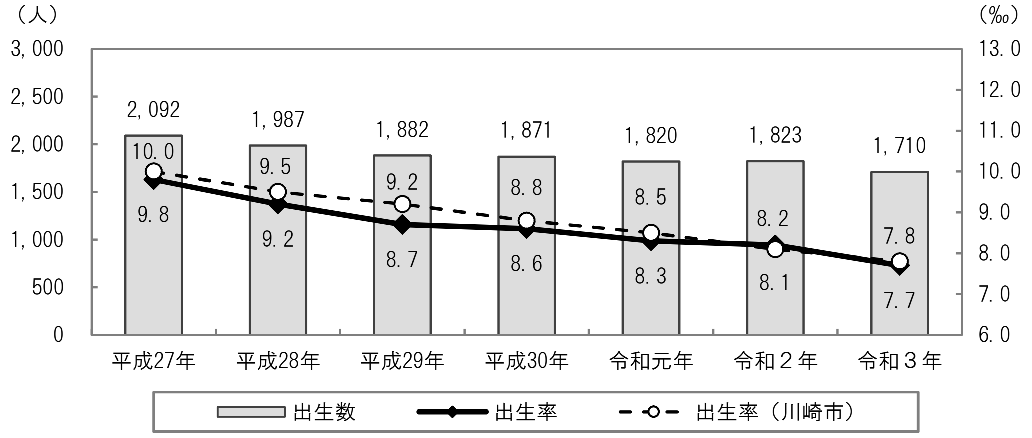
④　出生数・出生率の推移

多摩区の出生数・出生率は平成 27（2015）年まで増加していましたが、平成 28（2016）年以降は減少に転じ、令和３（2021）年は出生数 1,710 人、出生率 7.7‰となっています。

⑤　区別出生数・出生率（令和３年）



多摩区の出生数・出生率の推移



資料：川崎市健康福祉年報
※‰（パーミル）＝千分率（人口千対）

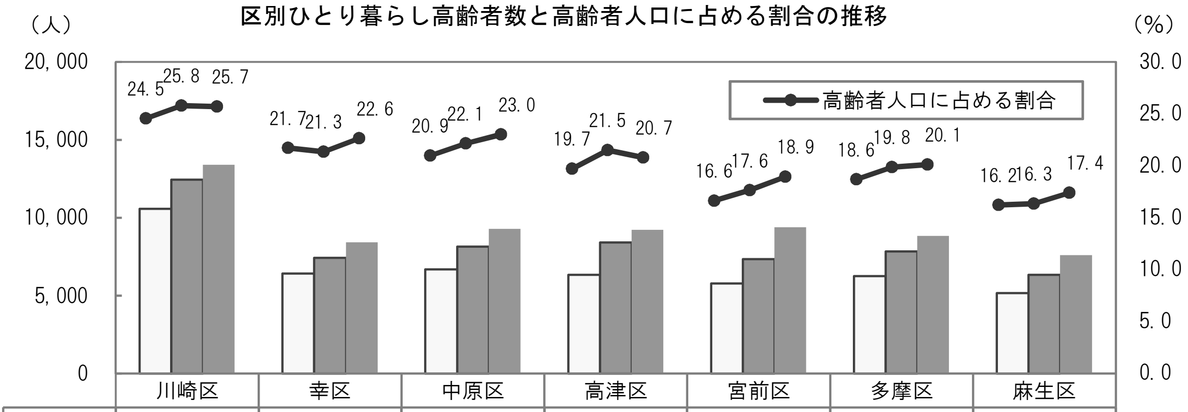
⑤ 高齢者の状況

●ひとり暮らし高齢者数と高齢者人口に占める割合の推移

令和２（2020）年の国勢調査では、多摩区は７区で３番目にひとり暮らし高齢者が少ないですが、平成 27（2015）年から 982 人増加しています。

また、高齢者人口に占めるひとり暮らしの割合は 20.1％となっており、７区で３番目に低くなっています。ひとり暮らしの割合は上昇傾向が続き、平成 27（2015）年から 0.3 ポイント上昇しています。

区別ひとり暮らし高齢者数と高齢者人口に占める割合の推移



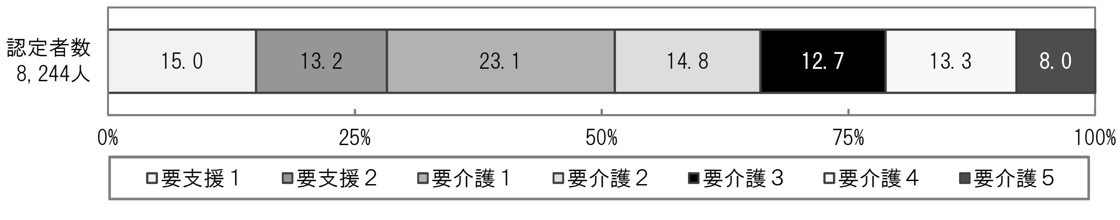
	川崎区	幸区	中原区	高津区	宮前区	多摩区	麻生区
□平成22年	10, 573	6, 413	6, 683	6, 337	5, 781	6, 249	5, 170
■平成27年	12, 451	7, 433	8, 147	8, 405	7, 350	7, 840	6, 333
■令和２年	13, 385	8, 406	9, 266	9, 222	9, 388	8, 822	7, 586

資料：国勢調査

●要介護認定者の要介護度割合

介護保険の第１号被保険者（65 歳以上）のうち、要介護・要支援認定者数は令和４（2022）年３月 31 日時点で 8,244 人となっています。要介護・要支援認定者のうち、約３割が要支援１と要支援２です。

多摩区の要介護認定者の要介護度割合（令和３年度末）

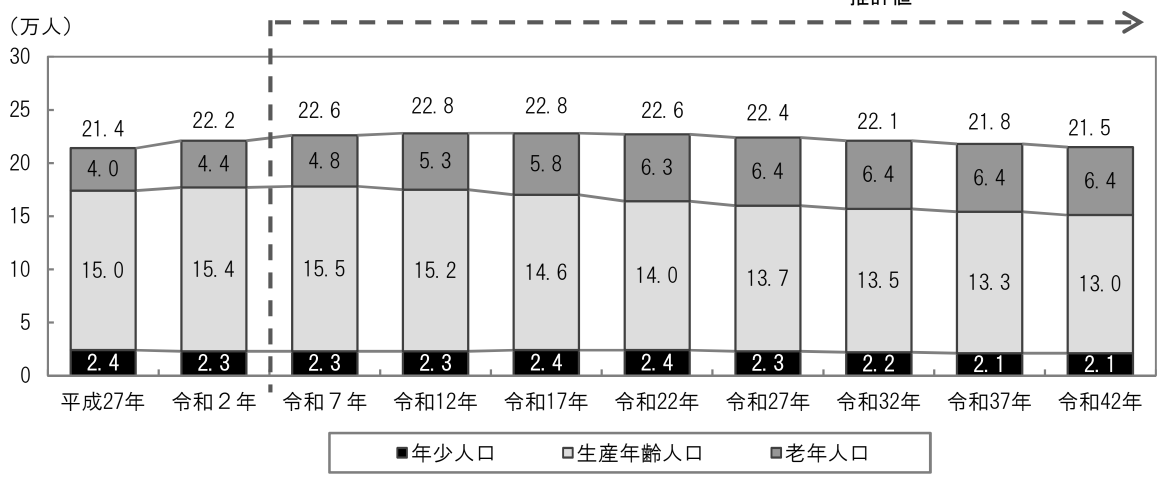


資料：川崎市統計書

●将来の高齢者の推計

令和４（2022）年の将来人口推計によると、多摩区の人口は令和 12（2030）年にピークを迎えると推計されています。15～64 歳の生産年齢人口は令和７（2025）年にピークを迎えますが、高齢者の人数（老年人口）はその後も増加を続けると推計されています。

多摩区の将来推計人口

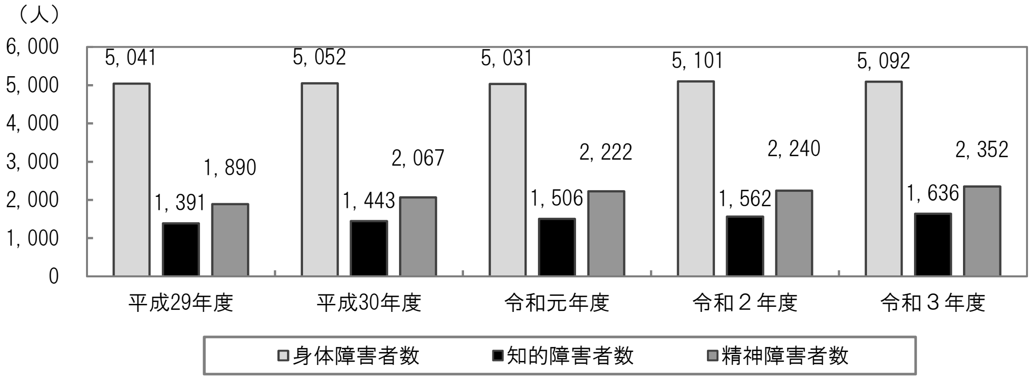


資料：「川崎市総合計画第３期実施計画の策定に向けた将来人口推計（更新版）」
（各年 10 月１日現在）
令和４年２月　川崎市総務企画局

⑥　障害者数の推移

障害者数は、令和３（2021）年度末で身体障害者手帳所持者数が 5,092 人、知的障害者数※が 1,636 人、精神障害者保健福祉手帳所持者数が 2,352 人となっています。

多摩区の障害者数の推移



資料：川崎市健康福祉年報（各年度末）
※知的障害者数は判定のみ受けて手帳を所持していない者も含む。

⑦　児童虐待相談・通告の状況

多摩区の児童虐待相談・通告件数は、平成 28（2016）年度から増加傾向が続いており、令和３（2021）年度は 653 件となっています。

児童虐待相談・通告件数受付状況（区役所・児童相談所合計）

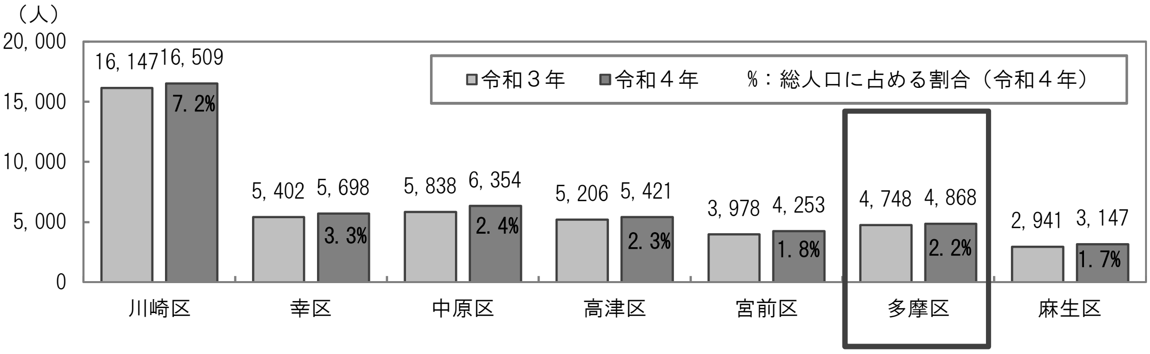
	川崎区	幸区	中原区	高津区	宮前区	多摩区	麻生区	その他	計
平成27年度	673	357	332	334	312	325	189	12	2,534
平成28年度	781	382	429	383	323	288	282	7	2,875
平成29年度	758	324	431	518	578	317	318	19	3,263
平成30年度	835	491	560	600	627	541	439	41	4,134
令和元年度	1,031	525	524	670	700	513	515	28	4,506
令和２年度	1,179	619	706	703	940	637	705	68	5,557
令和３年度	1,243	566	732	902	1,001	653	674	61	5,832

資料：川崎市こども未来局「平成 30 年度　川崎市における児童虐待相談・通告件数について」
※その他は初期調査により、管轄区外に居住していることが確認された件数。

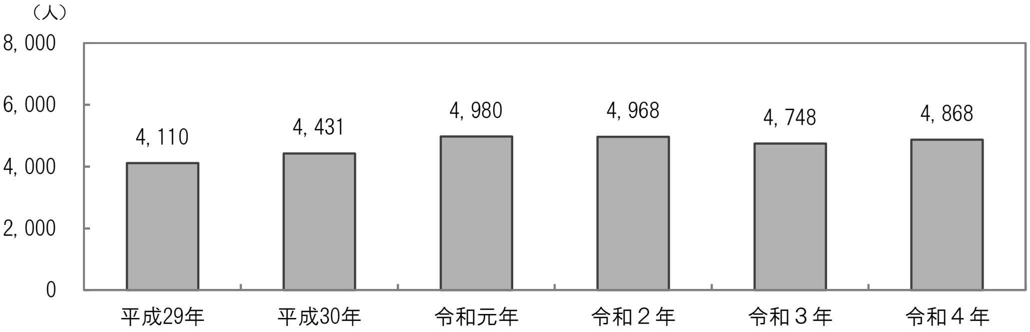
⑧ 外国人住民人口の状況

外国人住民人口は、令和元（2019）年９月末の 4,980 人から、令和４（2022）年９月末には 4,868 人へ減少しています。

区別外国人住民人口の推移と総人口に占める割合



多摩区の外国人住民人口の推移

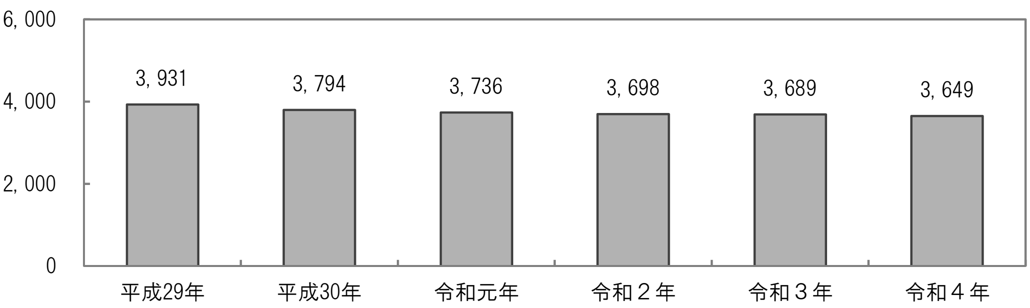


資料：川崎市統計情報「管区別年齢別外国人住民人口」（各年９月末日現在）

⑨ 生活保護の状況

令和４（2022）年度の生活保護を受けた人の数は 3,649 人で、緩やかな減少傾向が見られます。

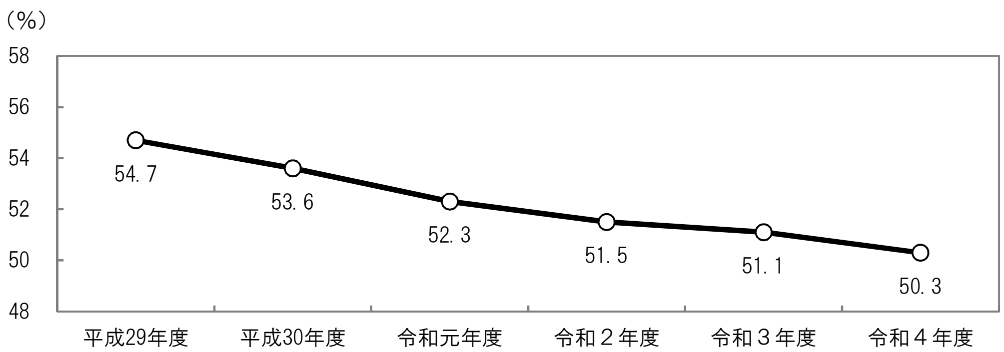
生活保護の状況（実人員）



資料：川崎市統計書（各年度月平均。実人員には保護停止中を含む。）

⑩ 住民組織加入率の推移

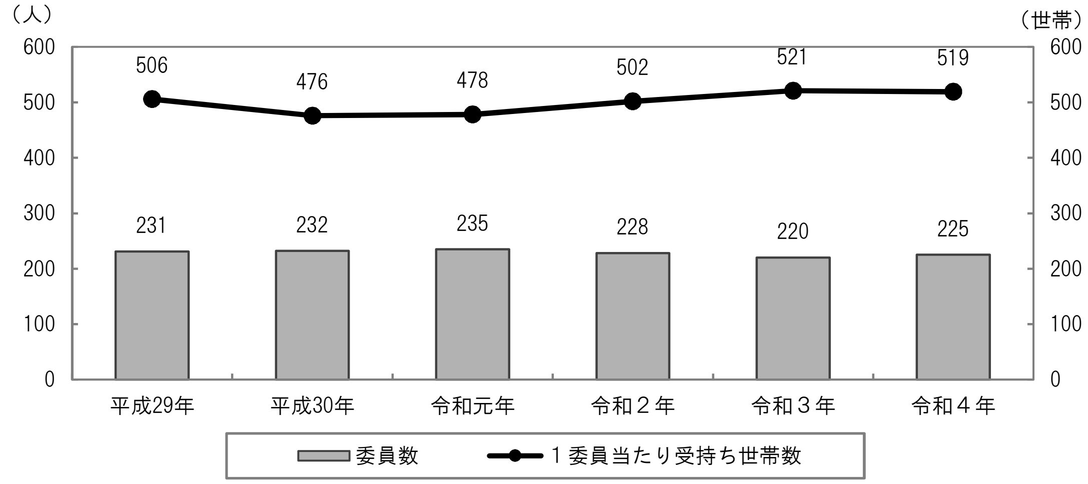
町内会・自治会等の住民組織加入率は令和４（2022）年度で 50.3%となっており、７区で最も低くなっています。



資料：川崎市統計書（各年度４月１日現在）

⑪ 民生委員児童委員の状況

民生委員児童委員数は横ばい傾向にあり、世帯数の増加によって１委員当たり受持ち世帯数が増加しています。

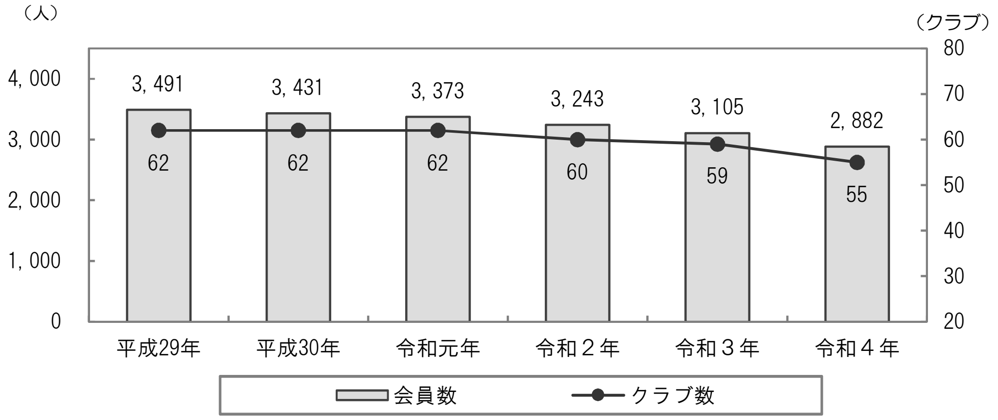


資料：川崎市統計書（各年４月１日現在）

⑫ 老人クラブの状況

老人クラブの状況は令和４（2022）年度の会員数が 2,882 人となっており、平成 29（2017）年度から毎年減少しています。

多摩区の老人クラブの状況



資料：川崎市統計書（各年度４月１日現在）